

## 様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月30日

青森県知事

殿

提出者

住 所 青森県弘前市大字馬屋町3番地

氏 名 嶽 開 発 株 式 会 社

代表取締役 三 上 千 春

電話番号 0172-34-1560

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	嶽 開 発 株 式 会 社
事業場の所在地	青森県弘前市大字馬屋町3番地
計 画 期 間	令和 4年 4月 1日～令和 5年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	特定建設業 産業廃棄物処分業 産業廃棄物収集運搬業
② 事業の規模	完成工事高 5.0億円（令和 4年度実績）
③ 従業員数	34名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	各工事現場から発生するがれき類は自社の中間処理施設に搬入され、全量が再生砕石として製造、販売されている。

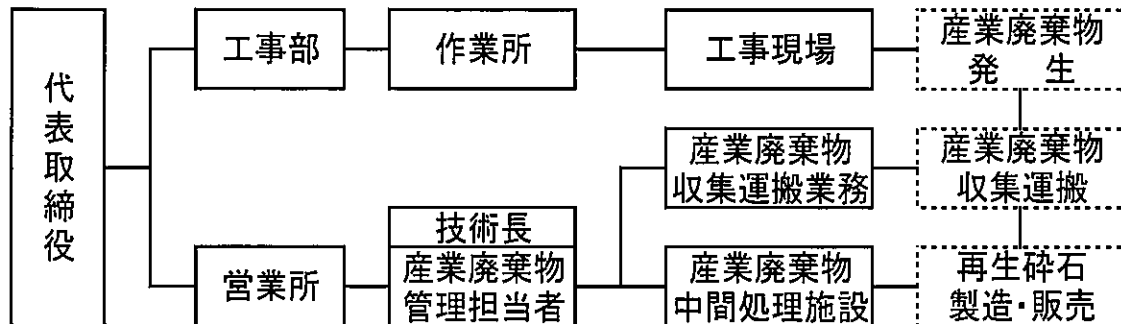
(日本工業規格A列4番)



## (第2面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック
	排出量	1,405.70 t	16.88 t	5.68 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	廃 PCB	
	排出量	0.00 t	0.00 t	
	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> <li>公共工事より発生した木くず（生木）を公募により地域住民に蒔用として譲渡。</li> </ul>			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック
	排出量	1,250.00 t	15.00 t	4.50 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	廃 PCB	
	排出量	0.00 t	0.00 t	
	（今後実施する予定の取組） <ul style="list-style-type: none"> <li>可能な限り蒔用等としての譲渡を検討する。</li> <li>PCB に関しては「排出なし」を目標とする。</li> </ul>			

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各工事現場にて紙くず、木くず、廃プラスチック、金属くずなどを分別し排出している。</li> </ul>
②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、継続して分別に取り組む。</li> </ul>

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,405.70 t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 工事現場から発生したがれき類は自社中間処理施設にて全量再生砕石としてリサイクル。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1250.00 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 自社中間処理施設にて100%リサイクル		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,405.70 t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 工事現場から発生した「がれき類」は自社中間処理施設にて全量再生砕石としてリサイクル。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,250.00 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 自社中間処理施設にて100%リサイクル		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和    4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラス チック	ガラス くず	廃 PCB
	全 処 理 委 託 量	16.88 t	5.68 t	0.00 t	0.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	16.88 t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t	t	t

		<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 木くずに関しては、再生利用業者に委託し、最終処分量の減量に努めています。</li></ul>
--	--	---

## (第5面)

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック	ガラスくず	廃 PCB
	全処理委託量	15.00 t	4.50 t	0.00 t	0.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	15.00 t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生利用業者へ委託し、最終処分量の減量を目指す。</li> <li>・廃 PCB は「排出なし」を目標とする。</li> </ul>				
※事務処理欄					

(第 6 面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。